

令和3年度 教育部長マニフェスト

教育部長

女澤康子

【基本方針】

基本理念である「子どもたちに誇れる笑顔日本一のまち久慈」の実現に向け、学校教育及び生涯学習の充実を推進するとともに、生涯スポーツの振興に努め、地域を担う総合力豊かな人材の育成と生涯にわたる豊かな学びの場の充実に取り組みます。

【重点目標】

1. 学校教育の充実

- ①情報教育の充実のため、学習系ネットワーク通信環境の整備に取り組みます。具体的には、全小中学校のインターネット接続方法を、各学校が直接インターネットへ接続する方式に9月末までに改修します。また、教員のICT活用指導力の向上に取り組み、「児童生徒のICT活用を指導することができる教員の割合」の向上(R1実績70.1%→R3目標80.0%)を目標とします。
- ②小中学生の学力向上のため、指導主事の訪問や各種研修会の充実により、各学校の授業改善を図ります。CRT(教研式標準学力検査)による「学習状況が良好な児童生徒の割合」を小学生は86.0%以上、中学生は67.0%以上を目標とします。
- ③小中学校の適正配置を推進するため、「小中学校の適正配置に関する基本方針」に沿って、来内小学校及び宇部中学校の児童生徒の保護者及び地域住民との意見交換、協議(各2回以上)を行います。

2. 生涯学習の充実

- ①学校・家庭・地域が一体となって、子どもの成長を支える環境づくり・意識の高揚を図るため、「学校支援地域本部事業」を小学校11校及び中学校6校で実施し、ボランティア延べ5,000人の参加を目標とします。
- ②市民自ら学ぼうとする意欲を支援し、幅広いニーズに合わせた図書館機能の充実を図るとともに、観光交流センターと連携し利用促進に努めます。入館者数10万人及び市民1人当たりの図書貸出数4冊を目標とします。
- ③久慈出身の武将、南部(大浦)光信公と津軽氏にゆかりの5自治体が交流する「歴史文化で結ぶ交流事業」開催に併せて、郷土の歴史や文化について理解を深めることを目的に、「光信公資料展」を開催し、1,000人の来場者数を目標とします。【コロナ影響】

3. 生涯スポーツの振興

- ①生涯スポーツの充実のため、市民誰もが主体的、継続的にスポーツに親しみ、健康増進と体力づくりができる環境の整備・充実に努めます。また、「あまちゃんマラソン」を開催し、当市の魅力を全国に発信します。参加人数については、800人を目標とします。【コロナ影響】
- ②「柔道のまちづくり」の推進のため、三船十段記念館を拠点とし、各種大会・教室の開催及び三船久蔵十段の偉業と功績の発信等により、柔道の普及と施設の利用促進を図ります。総人口に占める入館者及び道場利用者数の割合30%以上を目標とします。【コロナ影響】

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標